

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				令和8(2026)年2月18日			
リールスメイト豊里		利用児童数		24名		回収数		24名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
		環境・体制整備	1	14	5	1	3	ギューギューではないが狭さは感じる	
	2	12	6	3	3				
	3	16	4	0	3	ある日たまたまお迎えに行った日に、テーブルの横に3段ボックス?が横たわって置いてあった。		引き続き、修理修繕を進め環境整備に努めていく。	
	4	13	5	0	4	清潔です。ですが子供達の活動空間としては狭いと思います		ご意見を踏まえ、引き続き設備・備品の整備・改善に努めていく。	
適切な支援の提供	5	15	7	1	0	声かけに工夫を感じられない。		日々の支援やモニタリングの機会等を活用し、お子様の個性やニーズの相互共有により安全な支援体制確保に努めていく。	
	6	15	5	2	2				
	7	16	5	2	0	声かけをします。と計画にあげているわりに、声かけに工夫が見られない。声かけだけで、変わらないなら、もっと具体的な策を練ってほしい。モニタリングの反省点が次の支援計画には出てこず、前回の支援計画から変化が見られないのが、変。		日々の支援やモニタリングの機会等を活用し、お子様の個性やニーズの相互共有により安全な支援体制確保に努めていく。	
	8	18	4	1	0	具体性が全然ない。家族支援の欄で、私が日常生活で本人の意思を尊重していないような文言になっているが、家庭内で子どもの気持ちを無視しているつもりはないし、そのことで困っているとも言ったことはないで、それが計画に入るのはおかしいと思う。		ガイドラインの存在に加え、意義・目的についても丁寧にお伝えするよう努める。	
	9	17	5	1	0				
	10	19	3	2	0				
	11	8	5	8	1	機会はありませんが、特に必要と感じていません。		機会の提供に加え、意義・目的についても丁寧にお伝えするよう努める。	
保護者へ	12	19	2	2	1				
	13	19	2	1	2				
	14	8	1	12	2	行われていませんが、特に必要と感じていません。		機会の提供に加え、意義・目的についても丁寧にお伝えするよう努める。	
	15	15	2	5	1				
	16	12	2	9	0				
	17	15	2	4	2	子どもに興味がなさそう。		引き続き、迅速かつ丁寧な連絡・報告に努め、安心してご利用頂ける支援体制を確保していく。	

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	12	3		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	6	2	相談を聞いてくれそうな人がいない。 今の職員に相談したいと思わない。	日々の支援やモニタリングの機会等を活用し、お子様の個性やニーズの相互共有に努めていく。 管理者を中心に、丁寧な連絡・情報伝達に努める。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	3	6	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	3	6	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1	2	3		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1	1	7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	2	1	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	3	2	6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1	4	2		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	3	0	4		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	2	1	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	5	3	1		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		リールスメイト豊里				公表日 2026年 2月 18日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2	スロープと身障者用トイレを設置し、車いすの方でもご利用が可能です。	ロッカーやおもちゃ等を含め、破損部分が目立つ設備に関しては修繕を行う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	4	5S委員会を設置している。	カーペットや壁紙、防災マット等の汚れが目立つ箇所があるので、貼り替えを行い、清潔に保つ。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	2	カーテンで仕切ることのできる個別スペースが確保ができる。	カームルームを設置し、安心できるスペースを増やす。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1	月1回、法人職員と事業所のリーダー層を交えた会議を開催し、業務改善を進める為の協議を行っている。	勤務形態の関係で、会議の参加が難しい職員の意見を事前に吸い上げ、反映させる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3	法人内で内部監査を実施している。	保護者等向け評価表で、ご指摘いただいた部分の改善を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	イーラーニング（社内名称：Cトレ）を活用し、年間研修計画に基づき、各スタッフの勤務状況に合わせてつつ開催している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	計画作成に係る会議では、欠席者の意見等を事前に収集し、開催している。	記録や観察を強化し、ご本人と保護者の思いも取り入れ、客観的な根拠をもとに最善の利益の検討を行う。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	毎営業日に朝礼にて実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	適宜、終礼を開催している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	専門的支援実施を行える職員を配置し、実施記録以外の専門的な記録をとっている。	より支援の検証や改善につなげることのできるような記録のとり方を検討し、随時、改善していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	児童発達支援管理責任者だけでなく、管理者や専門職員も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1	ご利用前には、情報共有の場を設定し、相互理解に努めている。	就学後も情報共有や協力体制がとれる環境や関係性を構築できるよう努める。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	2	法人内の経験ある職員が、訪問時に助言をできる環境を整備している。	児童発達センターとの交流をより密に行えるよう努める。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	4	同業種の事業所とは年1回程度、交流イベントを行っている。	放課後児童クラブや児童館、地域の他のこどもと活動できる場には、積極的に参加する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	4	子ども部会には参加している。	協議会にも積極的に参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	5	法人内にて、家族支援プログラムに特化した、訪問型の事業を展開予定。	家族等の参加できる研修の情報収集を行い、周知する。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	見学・契約時に詳しくお伝えし、申請等のフォローも行ってまいります。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	6	コロナ蔓延前は、親子交流会を開催していた。	保護者や家族参加型のイベントを開催し、交流の場を提供する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	法人内にて、受付窓口を設置している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	保護者様向け、リールスブログを設置している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4	地域で開催されるイベントには参加している。	地域住民に協力得て、イベントを開催する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	事業所に来所した方が閲覧できるよう、ファイリングしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	アセスメント表に項目を記載し、情報収集に努めている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1	食物アレルギー対応マニュアルを事業所に設置し、運営を行っている。	医師の指示書が必要な利用者が現在いない為、必要な場合は、指示書に基づいた対応を行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0			

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	リールスメイト豊里		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	強み:多機能事業所 児童発達支援との多機能事業所である為、平日のサービス提供時間を6時間に設定し、支援時間の確保をしている。	平日のサービス提供時間を19:00迄とし、夕食提供も行っている為、保護者の就業サポートとご利用者様の自立に向けた食育、社会性向上を図っている。	土曜日や祝日といった通園、通学先がお休みの日にも、イベント開催として、夕食提供日を設定するなど、更なるニーズへの対応を検討する。
2	強み:多職種連携 保育士、機能訓練担当職員、経験ある児童指導員(5年以上)を配置し、各方面から支援を行うことができる。	専門的支援実施加算を取得し、専門的支援を行うことのできるスタッフを複数人配置することで、専門職を活かした支援をすることができる。	てんかん発作をお持ちのご利用時や医療的ケアが必要なご利用児の利用ニーズがある為、医療連携も検討していく。
3	強み:幅広い年齢層のスタッフ 20代から70代の幅広い年齢層のスタッフが在籍しており、様々な視点から児童にあった支援をすることができます。	それぞれのスタッフが役割を持ち、知識や経験を活かした活動を提供するようにしている。	リールスならではの系列事業所との連携を強化し、法人内の幅広い年齢のスタッフの経験を活かした活動を取り入れていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	課題:スタッフの定着率の低さ スタッフ定着率が低く、継続した質のいい支援の提供が困難になっている。	面談は適宜、実施しておりますが、面談だけでは、時間の確保や課題の見える化が難しく、スタッフのモチベーション低下に気づきにくい。	定着率を向上させる為に、個人パルスサーベイを導入し、数週間～1ヶ月単位のペースでスタッフのモチベーションの低下や職場環境の変化を早期に発見する。
2	課題:施設内の老朽化 開設して8年経ち、内装分で経年劣化や汚れが目立つ部分がある。	昨今の物価高騰と比例して工事費も高騰しており、修繕工事の実施が困難になっている。	運営状況を把握しながら中長期的に修理・修繕を行い、少しでも開設時に近い状態を維持し、快適にご利用していただける環境づくりに努める。
3	課題:地域との関わりが希薄である 地域や他事業所との交流、関わりが少ない。今後、関わりを増やし児童に新しい刺激や学び関わりを持つ機会を増やす必要がある。	地域や他事業所などで行われている、イベントや集会への参加が少なく、地域や他事業との関わりが不足している。	地域の行事に積極的に参加したり、他事業所との集会に参加したりと関わりを深め、児童やスタッフが参加しやすい環境作りを行う。

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	リールスメイト豊里					公表日	令和8(2026)年2月18日		
						利用児童数	1名	回収数	0名
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	-	-	-	-	-	-	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	-	-	-	-	-	-	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	-	-	-	-	-	-	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	-	-	-	-	-	-	
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	-	-	-	-	-	-	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	-	-	-	-	-	-	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	-	-	-	-	-	-	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	-	-	-	-	-	-	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	-	-	-	-	-	-	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	-	-	-	-	-	-	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	-	-	-	-	-	-	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	-	-	-	-	-	-	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	-	-	-	-	-	-	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	-	-	-	-	-	-	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	-	-	-	-	-	-	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	-	-	-	-	-	-	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	-	-	-	-	-	-	
	18	文母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	-	-	-	-	-	-	

す	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	-	-	-	-	-	-
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	-	-	-	-	-	-
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	-	-	-	-	-	-
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	-	-	-	-	-	-
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	-	-	-	-	-	-
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	-	-	-	-	-	-
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	-	-	-	-	-	-
	29	事業所の支援に満足していますか。	-	-	-	-	-	-

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		リールスメイト豊里				公表日 2026年2月18日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置数は適切であるか。	10	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	スロープと身障者用トイレを設置し、車いすの方でもご利用が可能。	未就学児が快適に過ごせるよう、家具や玩具を購入する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	3	5S委員会を設置している。	未就学児が快適に過ごせるよう、家具や玩具を購入する。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	カーテンで仕切ることのできる個別スペースが確保ができる。	カームルームを設置し、安心して過ごせるスペースを増やす。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	月1回、法人職員と事業所のリーダー層を交えた会議を開催し、業務改善を進める為の協議を行っている。	勤務形態の関係で、会議の参加が難しい職員の意見を事前に吸い上げ、反映させる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2	法人内で内部監査を実施している。	保護者等向け評価表で、ご指摘いただいた部分の改善を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	イーラーニング(社内名称:CTレ)を活用し、年間研修計画に基づき、各スタッフの勤務状況に合わせて開催している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	計画作成に係る会議では、欠席者の意見等を事前に収集し、開催している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	毎営業日に朝礼にて実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	適宜、終礼を開催している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	専門的支援実施を行える職員を配置し、実施記録以外の専門的な記録をとっている。	より支援の検証や改善につなげるのできるような記録のとり方を検討し、随時、改善していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	児童発達支援管理責任者だけでなく、管理者や専門職員も参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	ご利用前には、情報共有の場を設定し、相互理解に努めている。	未就学児の段階から本人の意思決定を尊重し、できる形を実現させる為に、地域連携を強化していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	2	法人内の経験ある職員が、訪問時に助言をできる環境を整備している。	児童発達センターとの交流をより密に行えるよう
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	3	同業種の事業所とは年1回程度、交流イベントを行っている。	保育園や認定こども園、幼稚園、また、地域の他のこどもと活動できる場には、積極的に参加する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4	法人内にて、家族支援プログラムに特化した、訪問型の事業を展開予定。	家族等の参加できる研修の情報収集を行い、周知する。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	見学・契約時に詳しくお伝えし、申請等のフォローも行っております。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	5	コロナ蔓延前は、親子交流会を開催していた。	保護者や家族参加型のイベントを開催し、交流の場を提供する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	保護者様向け、リリースブログを設置している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4	地域で開催されるイベントには参加している。	地域住民に協力得て、イベントを開催する。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	事業所に来所した方が閲覧できるよう、ファイリングしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	アセスメント表に項目を記載し、情報収集に努めている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	食物アレルギー対応マニュアルを事業所に設置し、運営を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0			

公表

児童発達支援デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	リールスメイト豊里		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	強み:多機能事業所 放課後等デイサービスとの多機能事業所である為、未就学～就学後まで切れ目なくご利用していただくことができる。	成長段階に合わせた一貫した療育プログラムが組める為、年齢が変わっても同じ事業所で支援方針を共有し、長期的な目標設定や発達の変化に応じた支援調整を行うことができる。	利用児の年齢差による課題がある為、ご利用児童に合わせた空間のゾーニング意識し、家具の配置やスペースの確保を随時行う。
2	強み:多職種連携 保育士、機能訓練担当職員、経験ある児童指導員(5年以上)を配置し、各方面から支援を行うことができる。	専門的支援実施加算を取得し、専門的支援を行うことのできるスタッフを複数人配置することで、専門職を活かした支援をすることができる。	てんかん発作をお持ちのご利用時や医療的ケアが必要なご利用児の利用ニーズがある為、医療連携も検討していく。
3	強み:幅広い年齢層のスタッフ 20代から70代の幅広い年齢層のスタッフが在籍しており、様々な視点から児童にあった支援をすることができます。	それぞれのスタッフが役割を持ち、知識や経験を活かした活動を提供するようにしている。	リールスならではの系列事業所との連携を強化し、法人内の幅広い年齢のスタッフの経験を活かした活動を取り入れていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	課題:スタッフの定着率の低さ スタッフ定着率が低く、継続した質のいい支援の提供が困難になっている。	面談は適宜、実施しておりますが、面談だけでは、時間の確保や課題の見える化が難しく、スタッフのモチベーション低下に気づきにくい。	定着率を向上させる為に、個人パルスサーベイを導入し、数週間～1ヶ月単位のペースでスタッフのモチベーションの低下や職場環境の変化を早期に発見する。
2	課題:施設内の老朽化 開設して8年経ち、内装分で経年劣化や汚れが目立つ部分がある。	昨今の物価高騰と比例して工事費も高騰しており、修繕工事の実施が困難になっている。	運営状況を把握しながら中長期的に修理・修繕を行い、少しでも開設時に近い状態を維持し、快適にご利用していただける環境づくりに努める。
3	課題:地域との関わりが希薄である 地域や他事業所との交流、関わりが少ない。今後、関わりを増やし児童に新しい刺激や学び関わりを持つ機会を増やす必要がある。	地域や他事業所などで行われている、イベントや集会への参加が少なく、地域や他事業との関わりが不足している。	地域の行事に積極的に参加したり、他事業所との集会に参加したりと関わりを深め、児童やスタッフが参加しやすい環境作りを行う。

事業所名

ルールスメイト豊里

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2024 年

9 月

1 日

法人（事業所）理念	子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の利益を図るため、保護者や地域社会と力を合わせて子どもを主体とした福祉の推進に積極的に取り組みます。		
支援方針	多様な活動・体験機会の提供を通じて、現在抱える子どもの困り事や生き辛さを改善し、子ども達が自分らしく生き抜く力を育み支える。		
営業時間	平日 土・祝・長期休暇	13 (11) 時 0 分から 19 (17) 時 0 分まで	送迎実施の有無 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	事業所スタッフにより来所時の健康チェック、来所時や飲食前、トイレ使用後等の手洗い等を通じ、健康を保持しつつ活発な活動参加ができるよう支援。 ご利用児童の特性に合わせ、構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援により、安心・安定して通所・活動できるよう支援。 保護者との密接な連絡調整と連携により、定期的なご利用を促進し、児童本人の生活リズムの形成・安定を図る。	
	運動・感覚	体操・サーキット活動等の提供により、姿勢および運動や動作の基本的技能を維持・向上を促進。 音楽に合わせて身体を動かす活動等の提供により、児童が保有する聴覚・視覚・触覚など感覚を刺激し、十分に活用することを促進。 (児童ひとりひとりの身体の状態に合わせ必要な場合)活動時間中に車いすなどを活用することで、姿勢の保持や移動手段の確保を図る。	
	認知・行動	支援スタッフが児童ひとりひとりの認知の特性を理解・把握するよう努め、それらを踏まえて児童が自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援。 粘土細工などの創作活動の提供により、児童が視覚・触覚・嗅覚などを通じて物の形や色・重さが変化していくことを体感し、認知機能の発達を促進。 外出（散歩）活動の提供により、児童が季節の移り変わりによる様々な変化を自ら体感することで、過去の情報と照らしつつ環境の状況や変化を把握・理解できるよう支援。	
	言語 コミュニケーション	はじまり（終わり）の会等の機会を通じ、コミュニケーション（言語・非言語のやり取り）により、相手の意図を理解することや自分の考えを伝えられるよう支援。 活動中の意図的な声掛け等により、ご利用児童ひとりひとりの発達状況や興味・関心に合わせ、言語・表情や身振りなどを用いて意思を伝えることを促進できるよう支援。 散歩活動中等の声掛けにより、個々に合わせた環境設定により相手と同じものに注意を向け、徐々にその行動や意図を理解していくことを促進。	
	人間関係 社会性	活動中や活動前後の事業所の支援スタッフとの密なやり取りにより、多様な他者との関わりの機会および環境を提供することで人間関係形成の促進。 感覚機能や運動機能を刺激する集団活動（例：ダンス活動、リトミック等）の提供により、他の児童と活動に参加することの楽しみを感じることで、社会性を促進。 ご利用児童ひとりひとりの関心や理解度に合わせつつ、ルールのあるゲーム活動の提供により、集団に参加する楽しみや手順を徐々に理解できるよう支援。	
家族支援	ご利用児童を支える保護者・家族のレスパイト、就労確保の預りニーズに対応し、必要に応じて延長支援を実施。児童の発達状況を相互に理解し合えるよう定期的に情報交換を実施。	移行支援	学童保育を併用している場合の連絡調整を行い、必要に応じて移行支援。 希望の進路先を見据えた本人・保護者等との相談援助を実施。
地域支援・地域連携	ご利用児童がスムーズな生活を送れるよう、通学先の学校の先生、併用している他の支援事業所担当者との連絡調整や連携の実施。	職員の質の向上	年間研修計画に基づき、計画的かつ定期的に全職員および職層別の研修を実施する。
主な行事等	新入生歓迎会（4）、夏祭り・水遊び（8月）、ハロウィン(10月)、クリスマス会（12月）、お別れ会（3月）、外出活動（毎月）、模擬店舗買い物体験（毎日）、料理、おやつ作り（毎月）、製作活動(毎月)		

事業所名

リールスメイト豊里

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2024 年

9 月

1 日

法人（事業所）理念		子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の利益を図るため、保護者や地域社会と力を合わせて子どもを主体とした福祉の推進に積極的に取り組みます。				
支援方針		成長著しい乳幼児期のお子様ひとりひとりの発達の充実が図られるよう、保護者や地域の支援機関との連携を重視しながら、個々のニーズに合わせ工夫を凝らした多様な活動・体験機会を提供することを通じ、就学に備えられるよう支援する。				
営業時間		平日 土・祝・長期休暇	13 時 0 分から (11) (17)	19 時 0 分まで (17)	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
支援内容						
本人支援	健康・生活	事業所スタッフにより来所時の健康チェック、来所時や飲食前、トイレ使用後等の手洗い等を通じ、健康を保持しつつ活発な活動参加ができるよう支援。 お子様ひとりひとりの特性に合わせ、構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援により、安心・安定して通所・活動できるよう支援。 保護者との密接な連絡調整と連携により、定期的なご利用を促進し、お子様本人の生活リズムの形成・安定を図る。				
	運動・感覚	体操・サーキット活動等の提供により、姿勢および運動や動作の基本的技能を維持・向上を促進。 音楽に合わせて身体を動かす活動等の提供により、お子様が保有する聴覚・視覚・触覚など感覚を刺激し、十分に活用することを促進。 (お子様ひとりひとりの身体の状態に合わせ必要な場合)活動時間中に車いすなどを活用することで、姿勢の保持や移動手段の確保を図る。				
	認知・行動	支援スタッフがお子様ひとりひとりの認知の特性を理解・把握するよう努め、それらを踏まえてお子様が自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援。 粘土細工などの創作活動の提供により、お子様が視覚・触覚・嗅覚などを通じて物の形や色・重さが変化していくことを体感し、認知機能の発達を促進。 外出（散歩）活動の提供により、お子様が季節の移り変わりによる様々な変化を自ら体感することで、環境の状況や変化を徐々に把握・理解できるよう支援。				
	言語 コミュニケーション	はじまり（終わり）の会等の機会を通じ、コミュニケーション（言語・非言語のやり取り）により、相手の意図を理解することや自分の考えを徐々に伝えられるよう支援。 活動中の意図的な声掛け等により、お子様ひとりひとりの発達状況や興味・関心に合わせ、言語・表情や身振りなどをを用いて意思を伝えることを促進できるよう支援。 散歩活動中等の声掛けにより、個々に合わせた環境設定により相手と同じものに注意を向け、徐々にその行動や意図を理解していくことを促進。				
	人間関係 社会性	活動中や活動前後の事業所の支援スタッフとの密なやり取りにより、多様な他者との関わりの機会および環境を提供することで人間関係形成の促進。 感覚機能や運動機能を刺激する集団活動（例：ダンス活動、リトミック等）の提供により、他のお子様と活動に参加することの楽しみを感じることで、社会性を促進。 お子様ひとりひとりの関心や理解度に合わせつつ、ルールのあるゲーム活動の提供により、集団に参加する楽しみや手順を徐々に理解できるよう支援。				
家族支援		お子様の発達状況を相互に理解し合えるよう、こまめな気づきの共有と情報交換を実施。お子様を支える保護者・家族のレスパイト、就労確保の預りニーズに対応し、必要に応じて延長支援を実施。		移行支援	保育所等併用している場合の連絡調整を行い、必要に応じて移行支援。希望の進路(就学)先を見据えた保護者等との相談援助を実施。	
地域支援・地域連携		お子様がスムーズな生活を送れるよう、保育所・幼稚園等の先生、併用している他の支援事業所担当者との連絡調整や連携の実施。		職員の質の向上	年間研修計画に基づき、計画的かつ定期的に全職員および職層別の研修を実施する。	
主な行事等		夏祭り・水遊び（8月）、ハロウィン(10月)、クリスマス会（12月）、お別れ会（3月）、外出活動（毎月）、料理やおやつ作り(毎月)、制作活動(毎月)、模擬店舗買い物体験(毎日)				